



余暇 事情

JETRO



バングラデシュ

BOP実態調査レポート

- 調査実施日：2012年10月
- 調査場所：ダッカおよびボグラ（農村部）
- 調査方法：BOP層の100名に面接を実施（学生、ビジネスマン、労働者、主婦等）

*バングラデシュ タカ換算レート 100タカ=約100円（2012年10月末レート）

概要

バングラデシュは家族の結びつきの強い国である。週末などの定期的な休日は買い物をしたり近所に出かけたりして、家族と過ごし、断食明けの祭など特別な休日には故郷に帰ることが多い。

農村部では、休日に家事や、親族との会話、屋外のスポーツをして過ごすことが多い。都市部ではやや状況が異なり、休みの日の外出先として買い物の他、動物園や公園、博物館などの行楽地に行くこともある。外出時の支出の中で大きな割合を占めるのは、一般に交通費と食費である。長期の休日の場合、遠方に出かける者もいる。

都市部、農村部のいずれにおいても、外出の選択肢は多くはない。人々が自宅の外で休日を過ごすことをためらう主な理由として、安全性の欠如、交通渋滞、不衛生があげられる。交通システムの改善、管理が行き届いた安全な児童公園、女性にとって安全な場所、料金が手頃な娯楽施設が充実できれば、都市部でも農村部においても、休日を有意義に過ごせる住民が増加するだろう。

Zia Uddan公園（国会議事堂裏）



JETRO



休日の種類

公務員や学生は週に2日または1日が休みである場合が多い。政府規定の祝日としては宗教祝日(10日間)、国の祝日(5日間)、ベンガル暦の新年、メーデーがある。断食明けの祭(イード・フィットル)と犠牲祭(イード・アドハー)は、3~5日の休日となり、都市部の住民の場合は、大部分が帰省して家族や親族と過ごす。この2つは最も長い休暇となるため、遠方の土地や観光地を訪れる者もいる。休日が1日の場合、近隣の友人や親族を訪問したり、市内の行楽地を訪れたりする。農村部の場合は家族や親族と過ごしている。政府の規則では、毎週の休日は金曜と土曜とされている。2012年の休日は次のとおりであった。

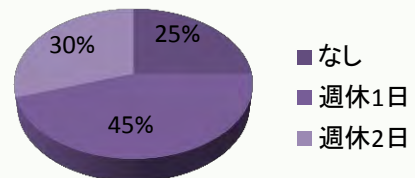
2月5日	マホメット生誕祭	8月15日	ムジブル・ラーマン葬送記念日
2月21日	ベンガル語国語化運動記念日	8月16日	シャベカダール
3月17日	ムジブル・ラーマン生誕記念日	8月17日	ジャマトウルビダ
3月26日	独立記念日	8月19-21日	断食明けの祭
4月14日	ベンガル歴新年	10月24日	ドウルガプジャ
5月1日	メーデー	10月26-28日	犠牲祭
5月4日	仏誕祭	11月25日	アシュラ
7月1日	銀行休業日	12月16日	戦勝記念日
7月6日	シャベバラット	12月25日	クリスマス
8月9日	ジャンマシュトミ	12月31日	銀行休業日



休日の日数

回答者のうち実際に休日を取っている者は75%にすぎなかった。ビジネスマンと主婦の大部分は、現実には毎週休みが取れるわけではないと回答している。学生、被用者、労働者は、毎週1日か2日の休日を取っている。毎週休日を取っている者のうち60%が休日は1日だけと答えており、その他は毎週2日と答えている。教育機関は大部分が週2日の休みがあり、政府機関、銀行、NGOも2日の休みとなっている。

毎週の休日数





休日の過ごし方

回答者の52%が休日は自宅で過ごすと考えている。家族本位の文化であるため、家で家族や親族と過ごす者が過半数を占めている。その他の回答としては、テレビを見る、特別な料理を作る、客を招く、単にくつろぐ、長寝するなどがあつた。



少数回答としては、新聞・本・雑誌を読んで過ごすと考えた者もあり、また一部に友人や兄弟姉妹、いとこと室内ゲームをすると回答した者もいた。



他方、休日に外出する方を好む者もいる。休日は外出したいと答えた回答者は48%であり、多くは休みの日に親族や友人を訪ねている。

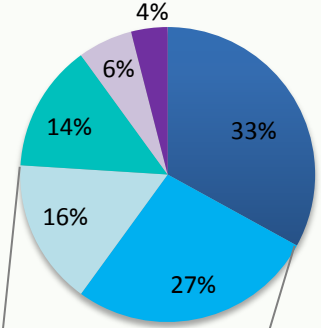
日用品その他必需品の買物に行くと考えた者の割合も多い。公園、劇場、博物館に行くと考えた者は少ない。新しい発見を求めて市外に出かけるとした者もいる。

バングラデシュの交通システムが改善し高速化すれば、外出する者の比率は大幅に増加するだろう。

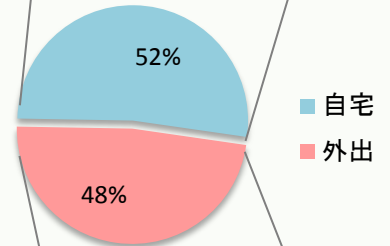


自宅での過ごし方と外出

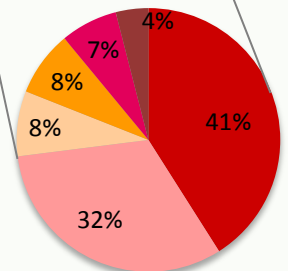
- 家族と過ごす
- テレビを見る
- 客を招く
- その他
- 室内ゲーム
- 読書



自宅で過ごす



外出する



- 親戚の家
- ショッピングモール
- 劇場
- 公園
- 博物館
- 市外



■特別休暇

断食明けの祭などの特別休日には、都市で働く人々は帰省して両親や親族と過ごす。遠出を好まない者の場合、友人や親族を訪ねることが多い。3～5日間の休日の場合、被雇用者の多くはくつろいだ時間を過ごそうとする。断食明けの祭は最大の宗教祭日であり、自分や親族の服地を買うために時間を使う。断食明けの祭期間中はすべてのテレビ局が最高の番組を放送するため、自宅に残る者にとっては通常より長い時間テレビを見ることが楽しい娯楽となる。特別なベンガル料理を作ること、近所の住民や友人を招くことは、バングラデシュの文化や祭日の重要な部分となっている。

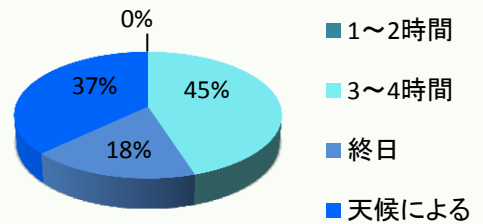
■自宅外で過ごす時間

調査からは、休日に外出すると答えた回答者の実際の外出時間は3～4時間の場合が多いことが分かった。若年層の友人グループなど、自宅外でほぼ終日を過ごす者も18%いた。回答者の37%は、外出時間は天候によると答えている。移動自体に長い時間を要し、特に都市部では交通渋滞のためにその傾向が強いことから、外出時間が1～2時間の者は皆無であった。

ダッカには世界の大都市のような十分な公園がない。人口の増加に伴い土地や住宅の需要が増加しており、そのため多くの公園が転用されてしまった。また適切な管理が行われていない公園もある。現時点では安全性や環境面で十分な公園が確保されておらず、余暇の選択肢としてはあまり適切ではない。しかし、子供向け、大人向けの遊園地がいくつかあり、休日の行楽地としてあらゆる階層の人々に人気がある。



外出時間

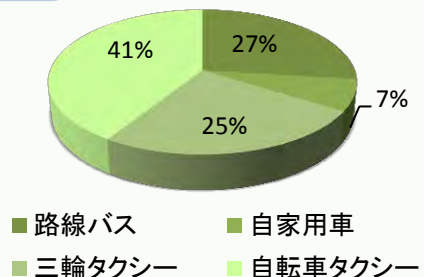


■交通手段

バングラデシュ人の多くは自家用車を所有していない。交通手段としては路線バスや三輪タクシー (Auto rickshaw) を利用することが多い。路線バスの料金は距離やサービスに応じて1人5～30タカである。三輪タクシーの料金は非常に高く、市内では70～300タカであるが、3～4人が同乗できる。家族で出かける際には三輪タクシーの方が良いと考える者が多い。自転車タクシー (Rickshaw) はどの都市でも最もよく利用される乗り物である。運賃は距離や場所に応じて2人で10タカから100タカである。一般に短距離の移動には自転車タクシーが利用される。友人のグループやカップルが移動する場合には自転車タクシーを利用する機会が多い。



利用する交通手段

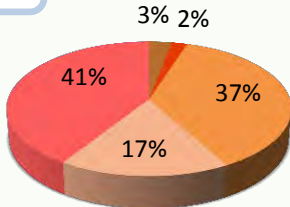




■食事



人気のある食べ物と飲み物



- ソフトドリンクだけ
- フルーツジュースだけ
- 飲み物と洋風軽食
- フルーツジュースと洋風軽食
- 飲み物と伝統的軽食

外出の際には食事や飲料に出費することが一般的であり、また必要にもなっている。左図に示すように、出費がソフトドリンクやフルーツジュースだけという人はごくわずかである。大部分の人は外出の際に飲み物と何らかの食品を購入している。観光地やショッピングモールでは、数多くの食品の中から選んで購入することができる。洋風の軽食や伝統的な軽食が販売され、多くの人々が飲食に時間をかけることを好む。特に人気の高い洋風軽食としてはハンバーガー、フレンチフライ、サンドイッチ、チャーハン、スープ、ピザ、巻物、パスタ、チキンフライなどである。スパイスがきいたバングラデシュの伝統的な軽食、例えばプチュカ、チョップリ、ピタ、カバブ、ビリヤニ、カレーなども行楽客に人気が高い。

支出額は、50タカしか支出しない人がいる一方で、1人当たり300～500タカを出費する人もいる。支出額は店舗の水準にもよる。ショッピングモールの中にある軽食店は一般に価格が高い。外出の際の食べ物への平均支出額は100タカであった。

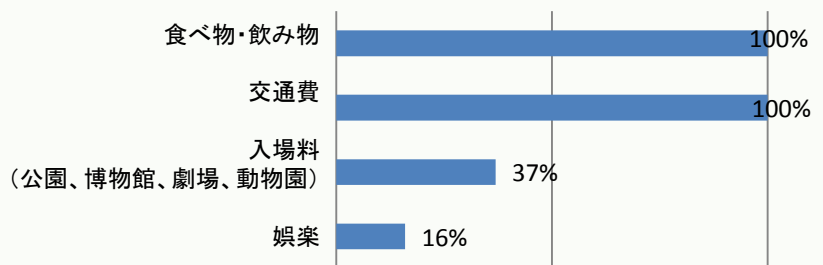
■休日の出費

長期の休みには、自宅で過ごす場合を除いて常に何らかの出費が伴う。下図は外出中に特に目立つ経費を示したものである。すべての回答者が交通費と飲食費をあげている。娯楽や買い物に出費したと回答している者もいる。入場料の支出は目的地や訪問地によって異なる。ショッピングモールや公園は入場料が無料のため、週末は非常に混雑している。史跡や動物園、博物館は1人当たり10～50タカ程度の入場料がかかる。ファンタジーキングダム、ノンドンパーク、世界遺産公園などの遊園地は入場料が1人500～1,000タカと非常に高い。都市部には児童公園もあり、入場料は1人当たり10～50タカである。

遠くの観光地で過ごす場合には、交通費、宿泊費、食費など多くの出費が伴うが、その額は個々の経済力によって異なる。一般に人気の高い交通手段はバスであり、運賃は距離によって1人当たり300～800タカである。宿泊費は1泊500～3,000タカと見られる。したがって市外への外出や家からの遠出は、休日の過ごし方としては費用のかかるものとならざるをえない。



外出中の支出





人気の訪問先

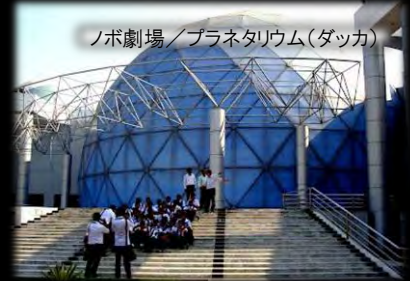
ダッカ市内内外の人気の訪問先として、国立博物館、動物園、児童公園、プラネタリウム、独立戦争記念碑などがある。その他に、Ramna公園、Dhanmondi湖、ノンドンパーク、ファンタジーキングダム遊園地、自由の戦士博物館、Zia Uddan (国会議事堂裏の公園)がある。古代建築としては、ラールバーク・フォート、アッシャーン・モンジル、ベンガルの古都であったショナルガなどがある。劇場や映画館も娯楽のための施設として好まれている。長期休暇を楽しむために市外に出かける際には、コックスバザールビーチやシレットなどの避暑地が人気の高い訪問地となっている。短い川下りも休日の過ごし方として好まれている。



アッシャーン・モンジル (ダッカ)



避暑地 (シレット)



ノボ劇場/プラネタリウム(ダッカ)



独立戦争記念館(シャバール)



国会議事堂(ダッカ)



ラールバーク・フォート



国立博物館(ダッカ)



コックスバザールビーチ(チッタゴン)



Ramna公園 (ダッカ)

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。